

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden

絶滅危惧 生物展

— 日本の生物多様性の過去、現在、未来 —

2022年 **4.23** (土) - **5.8** (日)

開園時間 9:00~16:30 (入園は16:00まで)

※4月29日(金・祝)から、9:00~17:00(入園は16:30まで)

休園日 5月2日(月)

※生植物もあるため、展示の一部には5月1日(日)までしか
ご覧になれないものもあります。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、入場の制限や、展示内容が変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

※最新の情報はこちらから →



日本列島は、世界でも有数の生物多様性をほこる地域である一方で、現在では多くの種が絶滅に瀕しているという危機にもあります。

絶滅危惧生物展では、筑波実験植物園のリビングコレクションを始めとした動植物の標本資料等の展示によって絶滅の恐れのある日本在来生物の現状を示します。また標本資料が実際の種の保全や多様性研究にどのような貢献をしているかをご紹介します。

多目的温室

筑波実験植物園が保有する約7000種の維管束植物リビングコレクションの中から日本に自生する約150種の絶滅危惧種および希少種を展示し、日本の生物多様性に迫る脅威について解説します。また、筑波実験植物園の研究員の研究テーマとつながりの深い絶滅危惧植物について、研究員ならではのエピソードとともに深掘りします。



研修展示館

2021年12月14日から2022年2月27日まで、国立科学博物館上野本館で開催された企画展「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」を再編集し、主に絶滅危惧種にスポットを当てて展示を行います。また、国立科学博物館の関連した研究活動の一端も紹介いたします。

※企画展「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」は、令和3年度日本博主催・共催型プロジェクトの一環として開催いたしました。

クイズに答えながら、園内にある絶滅危惧植物種を巡り観察してみよう。
参加者には記念品をプレゼント！どなたでもお気軽にご参加ください。

セミナー「植物研究最前線」

昆虫をだます花の話

花とその花粉を運ぶ昆虫(送粉者)の関係は「うるわしい助け合い」の関係ばかりではなく、極端な例として昆虫を一方的に搾取する「だます花」が少なからず存在します。日本の、そして世界各地の昆虫をだます花の興味深い生態と進化の不思議について紹介します。

- 日時:4月30日(土) 13:30~15:00
- 会場:研修展示館3階 セミナー室
- 対象:高校生以上 ■定員:28名(先着順)
- 講師:奥山 雄大(筑波実験植物園)
- 申込方法:開催日の1ヶ月前から電話予約 TEL:029-851-5159
- ※定員に達した時点で予約受付を終了します。

ギャラリートーク

絶滅危惧生物展の展示の見どころや裏話を実際の展示をご覧いただきながら解説いたします。

- 日時:①4月24日(日) 13:00~14:00
②4月26日(火) 13:00~14:00
③4月28日(木) 13:00~14:00
- 集合場所:研修展示館前
- 対象:小学校高学年以上 ■費用:無料
- 定員:各回10~15名程度(当日先着順)
- 講師:奥山 雄大(筑波実験植物園)
- ※各回定員に達した場合は、ご参加いただけません。

コロナ対策について

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては入場の制限や、イベント内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※最新の情報はホームページでご確認ください。

アクセス

電車・バス

つくばエクスプレス「つくば」駅より
・つくバス 北部シャトル筑波山口行き「天久保(筑波実験植物園)」下車徒歩3分
・関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩3分または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分

自動車

常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km
圏央道 つくば中央I.C.から約7km
無料駐車場 約120台

